



石薬師小だより

令和8年3月18日 第16号

Tel 059-374-1028

Fax 059-374-1057

E-mail ishiyakushi-e@city.suzuka.lg.jp

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp>

/sp/esishiyakushi/

【学校教育目標】

自ら考え、共に学び合い、進んで行動できる子の育成

6年生のみなさん～ご卒業おめでとうございます～

校庭の桜のつぼみが膨らみ始め、いよいよ卒業の時期を迎えました。

振り返れば、6年前、大きなランドセルを背負って校門をくぐった日。日々の授業や行事では、友だちとぶつかりながらも手を取り合い乗り越えた、たくさんの思い出。一步步、心身ともにたくましく成長してきました。門出を迎える皆さんの未来が、希望に満ちあふれたものであることを切に願っています。



保護者の皆様、お子さまのご卒業を心よりお祝い申し上げます。

今日までお子さまをそばで支え、見守ってこられた皆さまの思いに触れ、胸が温まる思いです。本校にお寄せいただいた多大なるご支援に深く感謝いたします。

学び舎への感謝～6年生奉仕活動～

卒業を目前に控えた六年生が、六年間過ごした学び舎への感謝を込めて、運動場の環境整備を行ってくれました。在校生が安全に活動できるよう、土入れや凸凹の補修、表面を均す作業などに取り組みながら、「お世話になった。」「最後だから、学校をきれいにしたい」……そんな言葉が聞かれました。まさに本校のリーダーにふさわしい頼もしい姿でした。



信綱顕彰会による、6年生かるた大会

2月20日、佐佐木信綱顕彰会4名の方々の協力を得て、「6年生かるた大会」を開催しました。卒業を間近に控えた6年生にとって、地域の伝統や文化に触れ、自分たちの成長を確かめ合う貴重な機会となりました。読み手の声が響いた瞬間、目にも止まらぬ速さで札を払う音、一札ごとに上がる歓声、惜しくも届かなかった時の悔いそうな表情がありました。

顕彰会の皆様からは、「さすが。札を取る速さに感動した」「信綱の文化が受け継がれていることを実感した」と温かいお言葉をいただきました。

当日の様子は、「CNS ケーブルテレビ」でも紹介され、たくさんの方に知っていただきました。



感謝をかたちに～6年生を送る会～

2月27日、体育館にて「6年生を送る会」を開催しました。卒業を目前に控えた6年生へ、1年生から5年生までの全校生が、これまでの感謝と応援の気持ちを歌や演奏、そして心のこもったメッセージに託して届けました。

一生懸命に披露する下級生の姿を、優しく微笑みながら見守る6年生の姿がありました。そして、これまで最高学年として学校を支えてきた自負と、在校生たちと過ごした日々を振り返る一日となりました。

会の終盤では、6年生一人ひとりから在校生に向けた言葉の中に、「6年間楽しかった。」「在校生、最高!」「石薬師小学校の後を頼む。」といった力強い言葉のバトンを送られました。

企画・運営に携わってくれた5年生の皆さん、そして当日はご多用の中参観いただいた6年生保護者の皆様、本当にありがとうございました。



(1年生)



(2年生)



(3年生)



(4年生)



(4・5年生)



(6年生)



(記念品の贈呈)



(花道で退場)

